

アジア 経済

中 東 特 集 号

石油精製部門と中東

——生産地精製の発展序説——

エジプトの労働力化率に関する一試論

イランにおける地主の一類型

——カスピ海地方の地主の実態——

経済開発計画とイラク農業

アラブ連合共和国の現行農法の改善に
よって生ずる経済効果の研究

松村清二郎

鈴木弘明

岡崎正孝

糸賀昌昭

イブズッディーン・ハンマーム
・アハマド、ム
ハンマド・マハ
ムード・アブド
ッルウーフ

中岡三益

エジプトにおける資本主義発展の起点と伝統的社会

資 料

OPEC (石油輸出国機構) 改正規約

エジプトにおける大学・高校卒業者の雇用と失業

イラクの新聞

現 地 報 告

松村清二郎

鈴木弘明

糸賀昌昭

イランの稲作

岡崎正孝

近着文献紹介

図書資料部

書 評

アジア経済研究所

1966

アジア経済研究所

—— アジア経済調査研究双書 ——

アジア貿易統計 —— 輸出 1961 ——

アジア経済研究所編

A 4 判 440頁・4000円

本書は、アジア地域19カ国について、Commodity flow を1961年輸出および再輸出面で総合202種の商品別相手国別のマトリクスでまとめる。「アジア貿易統計——輸入1961——」と相まって、その資料的価値は高い。

翻訳シリーズ 第19集

低開発諸国への資金の流れ —— 1956～63年 ——

外務省経済協力局監訳

A 5 判 230頁・価 750円

本書は、経済協力開発機構(OECD)が刊行した The Flow of Financial Resources to Less-developed Countries 1956-1963を翻訳したものである。OECD 加盟工業国から低開発国への資金の流れを網羅的にまとめ、各国の援助政策等を記述。

翻訳シリーズ 第20集

独立ビルマの農業問題

ゲー・エヌ・クリムコ著 中山一郎訳 A 5 判・価 650円

著者はビルマの農業改革遂行上の問題点を認識することから始め、あらゆる資料を駆使してそこにいたる歴史的過程ならびに現状の分析を行ない、その上に立って将来を展望する。ビルマ研究において特に業績をあげているソ聯の研究成果を紹介。

翻訳シリーズ 第21集

DAC 加盟国の開発援助 1965年年次審査

DAC議長報告

A 5 判 160頁・価 500円

本書は、経済協力開発機構(OECD)の主要な委員会の一つである開発援助委員会(DAC)による1965年年次審査の結果を、同委員会議長が報告書としてとりまとめ委員会が採択したものを翻訳する。なお、63年、64年度のものも公開されている。

発 売 所

東京大学出版会

東京・文京・東大構内

振替 東京 59964

TEL (811) 8814

ア ジ ア 経 済 第 7 卷 第 7 号

ま え が き	2
石油精製部門と中東	
—— 生産地精製の発展序説 ——	松 村 清 二 郎.... 4
エジプトの労働力化率に関する一試論	鈴 木 弘 明.... 15
イランにおける地主の一類型	
—— カスピ海地方の地主の実態 ——	岡 崎 正 孝.... 40
経済開発計画とイラク農業	糸 賀 昌 昭.... 54
アラブ連合共和国の現行農法の改善に よって生ずる経済効果の研究	イッズッディーン・ ハンマーム・アハマ ド, ムハンマド・マ ハムード・アブドッ ルウーフ 72
エジプトにおける資本主義発展の起点と伝統的社会	中 岡 三 益.... 93
資 料	
OPEC(石油輸出国機構)改正規約	松 村 清 二 郎.... 101
エジプトにおける大学・高校卒業者の雇用と失業	鈴 木 弘 明.... 107
イラクの新聞	糸 賀 昌 昭.... 115
書 評	
H・J・フランク著『中東原油の価格形成』	松 村 清 二 郎.... 120
アミン・バナーニ著『イランの近代化, 1921~1941』	岡 崎 正 孝.... 122
現 地 報 告	
イランの稲作	岡 崎 正 孝.... 125
近 着 文 献 紹 介	図 書 資 料 部.... 131
所 報	133

ま え が き

I

よく知られているとおり、わが国における現代中東地域の研究は欧米にくらべて研究者の層もきわめて薄く、研究水準もけっして高くない。この地域に関する研究に従事している職業的専門家は、ほとんど言語、宗教等のいわゆる東洋学系統か、あるいは東洋史学系統に属しており、その他の学問分野からの現代中東研究の職業的専門家はほとんど見当たらないほど無惨な実情にある。この現状は、わが国の大学・研究機関が現代中東地域を単に応用研究の対象としているから生じたものというよりは、むしろわれわれ現代中東の研究者が、各学問分野の原理の発展に貢献しえないような研究方向をとっていたことによって生じたものであると自ら省みる必要があろう。その第1の理由として考えられることは、膨大なアラブ、イラン（ペルシャ）、トルコ学やイスラーム学の伝統と蓄積が、経済学、社会学、政治学等の側から現代中東地域の研究を志すものにとって抜くべからざる厚い壁となっており、加うるに特殊言語研究の不備からくる言語障害がみられることである。その逆の面は、中東地域に関する知識や現地感覚にすぐれた人々が、学問分野に位置づけられるような研究方向をとっていないことである。H・A・R・ギップ教授が提案したように、現代中東研究の第1の、最大の課題は、社会科学と東洋学との結婚にあるとしても、その準備として、やはりギップ教授が提案したように、さしあたり1人でも多く研究者として安定できる職と地位を与えることが必要であると思われる。

いまこのような状態にあるとき、所内のわずか5名のもの（そのうち中東調査室員は3名である）が、『アジア経済』誌の一号全部をつぶして中東特集号をつくったことは、背のびしきった無茶な試みであるといわれても仕方がない。事実ここにみられるように、われわれは統一課題をたてることができなかった。あえてそれを試みた理由は、われわれの現代中東研究の次の時期を考えるに当たって、いま中東調査室で足りないものは何であるか、伸ばさなくてはならないものは何であるかをはっきりさせたいためであるといっている。中東調査室の国別、主題別担当の点からみて十全の構成ができていると思えないが、この現状でどれだけのことができるのであろうか。社会科学と東洋学の結婚というギップ教授の提案をうけとめるというような大それた夢を、われわれはいつになったら見るのであろうか。ともあれ、この中東特集号は、所内の中東研究の現状を知ってもらうためにある。

II

松村清二郎の「石油精製部門と中東——生産地精製の発展序説——」は、昭和40年度以来の「国際石油産業とその発展」に関する研究会を中心とする同君の研究成果の一部である。ねらいは石油産業自体にあり、直接的に産油国の産業構造に分析の目を注いでいるわけではない。その意味で、中東地域研究という

よりも、中東の石油産業をひとつの素材とするグローバルな視角からする国際石油産業の分析である。したがって中東地域の産業構造の分析をもって、この研究をうけとめるものが必要であり、将来の課題として残されている。

鈴木弘明の「エジプトの労働力化率に関する一試論」は、昭和40年度以来の「人的資源分科会」（合同プロジェクト）を中心とする同君の研究成果の一部である。同君が先に発表した『エジプト綿業論』（研究参考資料第96集，昭和41年3月）において、綿業における労働力調査を行なっているが、ひきつづき労働力全般の基礎データの集積を県段階まで下して行なったものである。この基礎データから、エジプトの労働力構造についていかなる結論を導きだすかが、将来の課題として残されている。

岡崎正孝の「イランにおける地主の一類型」は、昭和40年度以来の「農業生産性分科会」（合同プロジェクト）を中心とする同君の研究成果の一部であり、他に『イランにおける企業的農業の進展』（研究参考資料第88集，昭和40年10月），「乾燥アジアにおける農業機械化導入の諸条件」（『アジア経済』，第7巻第5号，昭和41年，平島成望と共同執筆）の形で研究成果が発表されている。詳細な現地の農村実態調査を基礎にした一連の作業の結果を示すものであるが、同君のめざす乾燥地帯農業の研究は、イラン以外の地域の比較研究を必要としている。

糸賀昌昭の「経済開発計画とイラク農業」は、同君が海外派遣員としてイラクに滞在中の研究成果をとりまとめたものであるが、イラク農業開発の概観にとどまっている。同君は、いまこの研究を継続できない状況にある。だれかがイラク農業構造分析に着手する必要があると思われる。

イブズッディーン・ハンマーム・アハマドの「アラブ連合共和国の現行農法の改善によって生ずる経済効果の研究」は、同氏の本誌に対する寄稿を昭和41年度「現代アラブ連合の総合研究」の仕事の一部として翻訳したものである。同氏の研究は、エジプト農業の最大の隘路が農産物に関する海外市場と流通機構にあることを予測させているが、この点についての分析が直接行なわれているわけではないので、海外市場と流通機構に関する他の研究を参照する必要がある。

中岡三益の「エジプトにおける資本主義発展の起点と伝統的社会」は、昭和40年度以来の「現代アラブ連合の総合研究」の研究成果の一部であり、エジプト資本主義発展の起点としてのクローマー時代に関するおおまかな問題整理を行なったものである。資本主義発展の起点の時期に関する経済史的研究をねらっているが将来の課題としてアラブの他地域との比較および基礎データの根本的な再収集整理が必要である。

III

こうみてくるならば、中東特集号にあらわれた中東調査室を中心とする現代中東地域の研究状況は、大きな穴があらにもこちらにもあいていることが一目瞭然である。これは当研究所だけのことではなく、所外の専門家の協力を求めたにしても、大きな穴をいくつもうめることはできない。しかしわれわれはただ現状を悲観しているのではなく、ひとつひとつの積上げが将来の大きな研究発展に必ず資するであろうと確信しているのである。この中東特集号はなにぶんにも短期間にまとめたものであるため、不満な点も多いと思われるが、きたんない批判と助言を与えられるならば、これにすぎる幸いはない。（中岡三益）

中 国 ・ 台 湾

58	中国の鉄鋼業と機械工業	明野義夫・小島麗逸訳	300円
59	台湾の産業構造	笹本武治著	800円
62	中国の経済発展と対外貿易	米沢秀夫編	400円
71	中国の電力・石炭・紡織・製紙工業	アジア経済研究所編	500円
102	中国経済の長期展望(Ⅱ)	石川滋編	1300円

韓 国

69	韓国経済と産業連関分析	朴炳日著	500円
77	韓国の統計事情	姜伍金著	250円

ア ジ ア

21	アジア諸国貿易指標 (Ⅰ)	有馬駿二編	1150円
	" (Ⅱ)	"	1150円
35	アジア諸国における国際資本移動と国際収支	入江猪太郎編	850円
61	アジア諸国経済開発の比較研究	山本登編	530円
66	アジアの経済法(Ⅱ)ービルマ・セイロンー	内田力蔵編	800円
67	アジアの合併企業ー製造工業篇ー	菅原藤也編	1100円
68	アジア経済の長期展望	アジア経済研究所編	2100円
87	アジアの経済成長と域内協力	アジア経済研究所編	1200円

東 南 ア ジ ア

44	イギリス植民地銀行の東南アジアにおける地位	三月輪梯三著	350円
45	東南アジア諸国の貿易為替政策	月村市郎編	650円
49	東南アジア諸国の農・畜産物バランス表	アジ経済研究所編	500円
56	東南アジア諸国の物量バランス研究	有馬駿一編	600円
65	東南アジアの糖業	斎藤二夫編	400円

そ の 他

12	オランダの西ニューギニア開発政策	中福佐永古	400円
13	投資基準理論の展望	村地藤逸	300円
15	国際連合の低開発国援助	孝崇和	550円
19	カンボジア・ラオスの経済社会開発	三郎三昇	1000円
20	対アジア主要輸出国の産業構造	藤利久	1400円
23	低開発国における技術選択のプログラム	坂下銀次	350円
27	アルゼンチンの経済構造	田松男	700円
34	欧州共同市場と低開発地域	柴小泉	500円
46	ブラック・アフリカの伝統的社会とその変容	野口雄一	600円
53	ラテン・アメリカの経済統合に関する文献と雑誌記事	藤田弘	1500円
64	中近東における石油問題	中福佐永古	700円
73	アフリカ経済の諸問題	藤田弘	1100円
75	中東の社会変動	野口雄一	470円
80	ブラジルにおける外国資本の法制度	藤田弘	2000円
86	E E C・アフリカ新連合協定	井木崎	780円
88	イランにおける企業的農業の進展	通政藤渡鈴	350円
90	D A Cと低開発国援助問題	野口雄一	250円
91	アフリカ諸国の経済開発	藤田弘	900円
92	国際産業連関表	田部山居	800円
96	エジプト綿業論	藤田弘	350円
98	アメリカの援助政策	藤田弘	500円
99	中ソのアジア政策	藤田弘	300円
101	わが国産業の対外投資要因	藤田弘	300円

アジア経済研究所 研究参考資料

発売
東京大学出版会

東京・文京・東大構内
振替 東京 五九九六四

発行所 アジア経済研究所 東京都新宿区市ヶ谷本村町42番地(経済協力センター) 電話東京353局 4231番(代表)
販売所 東京大学出版会 東京都文京区本富士町1番地 東大構内 電話東京811局 8814番 振替東京59964番
印刷所 株式会社 第二印刷所 東京都江東区佐賀町1丁目14番地 電話東京641局 6191番
昭和41年7月15日発行(毎月1回15日発行)昭和37年5月12日 第三種郵便物認可通巻第50号
昭和38年10月4日国鉄東局特別扱承認雑誌1655号

ア ジ ア 経 済

Vol. VII, No. 7

AJIA KEIZAI

July 1966

A SPECIAL ISSUE ON THE MIDDLE EAST

Contents

Preface

Oil Refining and the Middle East: An Introductory Note

on the Development of On-the-Spot RefinerySeijirō Matsumura

Labor Force Participating Rate in Egypt: A Preliminary Essay.....Hiroaki Suzuki

Landowners in the Kaspian Sea Area: A Type of Landowners in Iran.....Shōkō Okazaki

Economic Development Plan and Agriculture in Iraq.....Masaaki Itoga

Studies of Improvement of the Existing Farming Method and

its Economic Effect in the UAR.....‘Izz El Dīn Hammām Aḥmad
& Muḥammad Maḥmūd ‘Abd
El Ru’ūf

The Rise of Egyptian Capitalism under the British RuleSan-eki Nakaoka

Materials

The Statute of the Organization of Petroleum Exporting Countries.....Seijirō Matsumura

Employment and Unemployment among the Educated in Egypt.....Hiroaki Suzuki

Newspapers in IraqMasaaki Itoga

Book Reviews

H. J. Frank, *The Pricing of Middle East Crude Oil*Seijirō Matsumura

Amin Banani, *The Modernization of Iran, 1921~1941*Shōkō Okazaki

Reportage

Rice Cultivation in IranShōkō Okazaki

Introduction of Newly Received Books

Report on the Institute

Monthly Journal of

The Institute of Asian Economic Affairs

42 Ichigaya-Hommura-chō Shinjuku-ku, Tokyo, Japan.

